

BOOST PRESS / VACUUM PRESS
SG-BP / BPG / SG-VP / VPG

取扱説明書 (No.003)

この度はPIVOTステッピングゲージシリーズをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読み下さい。

SG-BP/BPG/VP/VPGの特長

- マイコン制御のステッピングモータードライブで、正圧（ブースト圧）・負圧を高精度表示します。
- 高精度圧力センサー付属。
- ワンタッチでピークデータを表示するピークホールド機能付。
- 様々な場所に対応する取付スタンド&コの字ステー付属。
- ホワイต์LED反射拡散照明（SG-BP/VP）。ブルーLED透過照明（SG-BPG/VPG）。明るさ調整機能付。

【オープニングデモ】 キースイッチONすると、機能上（原点検出）のため、針が一定の動作をします。

セット内容

メーター 本体	フレキシブル スタンド	コの字 ステー	圧力 センサー	3Pカブラー コード	ナイロン ホース	ゴムホース	変換 ジョイント	T型 ジョイント	I型 ジョイント
カットギボシ ×2	ヘキサコ レンチ	両面テープ (L)×3	両面テープ (S)×1	六角ネジ ×1	六角ナット ×1	ばね座金 ×1	ローレット ナット×1	タイラップ ×5	取扱説明書

各部の名称と操作方法

〈オモテ面〉

【SG-BP】

ピークスイッチ

メーター表示部 (BP/BPG)

- 表示範囲
・BP/BPG = -1.0 ~ +2.0 (×100kpa)
- 照明
・BP = ホワイต์LED反射拡散照明
・BPG = ブルーLED透過照明
・スモールランプ連動
・明るさ調節機能付

【SG-BPG】

ピークスイッチ

【SG-VP】

ピークスイッチ

メーター表示部 (VP/VPG)

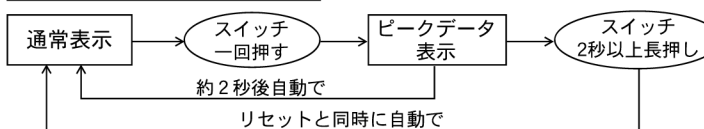
- 表示範囲
・VP/VPG = -1.0 ~ +0.3 (×100kpa)
- 照明
・VP = ホワイต์LED反射拡散照明
・VPG = ブルーLED透過照明
・スモールランプ連動
・明るさ調節機能付

【SG-VPG】

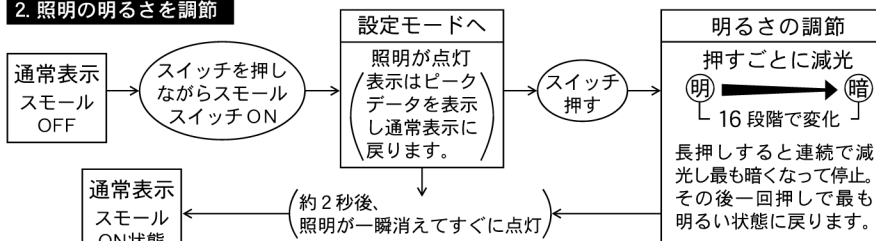
ピークスイッチ

ピークスイッチの操作方法

1. ピークデータの表示、リセット ※ピークデータのリセットは、キースイッチOFFでも行われます。



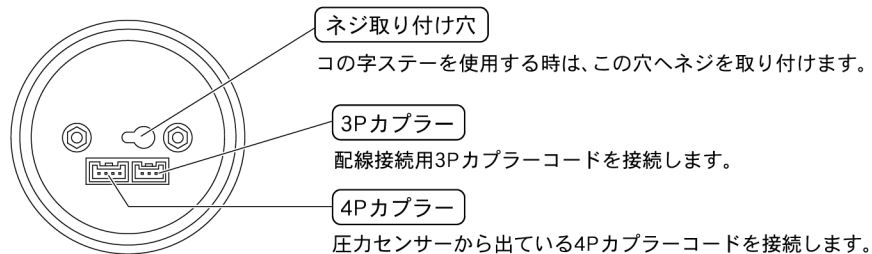
2. 照明の明るさを調節



〈複数のメーターで明るさを合わせたい場合〉

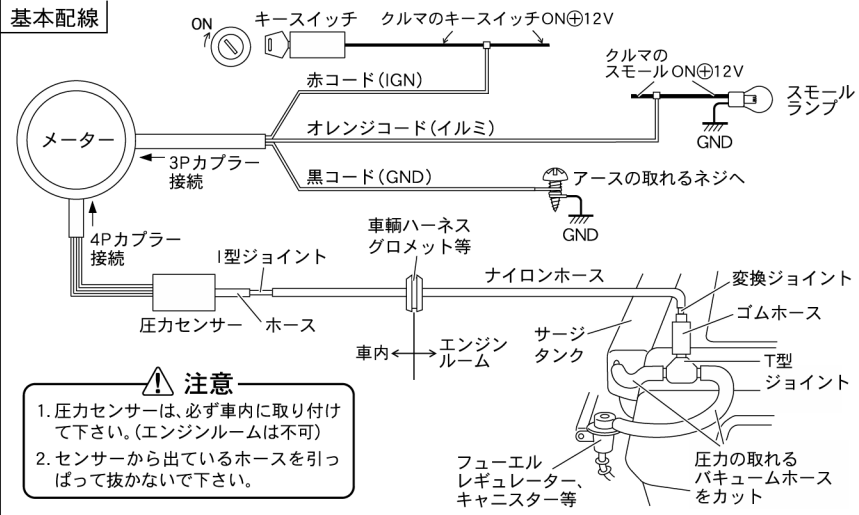
- ① 基準とするメーターの明るさを決め、その明るさが何段階目かを確認します。
- ② 確認した段階に他のメーターを合わせます。

〈ウラ面〉 BP/VP、BPG/VPG共通



配線接続方法

基本配線



注意

1. 圧力センサーは、必ず車内に取り付けて下さい。(エンジンルームは不可)
2. センサーから出ているホースを引っぱって抜かないで下さい。

注意

1. 安全作業のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。(検電時は戻す)
2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
3. コードの引き回しは、ショートや断線の無いよう、ご注意ください。
4. ホースの引き回しは、折り曲げたり、傷を付けて、圧力が抜けてしまわないようご注意ください。又、エンジンルーム内でブラついたりしないように付属のタイラップ等で固定して下さい。

接続方法

1. 3Pカブラーコードの接続

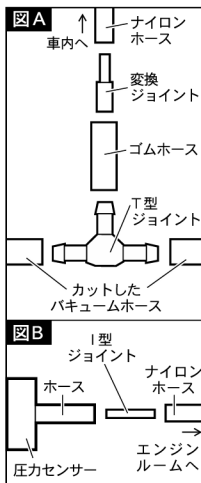
- ・赤コード(IGN) = キースイッチONで⊕12Vの流れる配線へ接続します。
 - ・オレンジコード(イルミ) = スモールランプスイッチONで⊕12Vの流れる配線へ接続します。
 - ・黒コード(GND) = アースの取れる鉄板に取り付けネジ(ボディアース)に接続します。
- ⇒それぞれ確実に接続し、3Pカブラーをメーターのウラへ接続します。

接続時の注意

3Pカブラーを水温・油温・吸気温計・スピードメーターに接続すると故障しますのでご注意ください。

2. 圧力センサーの接続 (必ず車内へ取り付けして下さい。エンジンルーム不可)

- ① エンジンルームで、サージタンクやインタークマニホールドから直接出ている、圧力の取れるバキュームホースを探します。(例：フューエルレギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- ② 探し出したホースを適当なところでカットし、T型ジョイントを割り込ませます。
- ③ ゴムホースの片側をT型ジョイントへ接続し、反対側へ変換ジョイントの太い方を接続します。
- ④ ナイロンホースの片側を変換ジョイントの細い方へ接続し、反対側は車輪ハーネスグロメット等を利用して車内へ引き込みます。
- ⑤ 引き込んだナイロンホースと圧力センサーのホースをI型ジョイントを使用して接続します。(図B)
- ⑥ 圧力センサーの4Pカブラーコードをメーターのウラへ接続します。
- ⑦ センサー本体は、両面テープ(S)で車内のジャマにならないところへ取り付けます。(プロアファンの吹き出し口近く等は避けて下さい。)



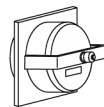
注意

ホースやジョイントは、それぞれ確実に接続し、簡単に抜けてしまわないか、圧力漏れはないか等をご確認下さい。(状況によっては、各接続部に抜け防止処理をして下さい。)

メーターの取付方法

A コの字ステーを使用しての取り付け

- パネル裏側から固定する場合



1 コの字ステー用のネジの取り付け

- ① 付属の六角ネジの六角部分をケースウラのネジ取り付け穴へ入れ、左へスライドさせます。

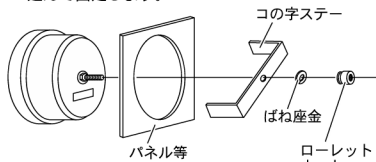
穴の左内側にネジの六角がはまるストッパーがありますので、そこへはまるようにします。

- ② ストッパーにはまっている状態で、付属の六角ナットを使用して固定します。



2 メーターの取り付け

- ① 取り付けたいパネルのオモテ側から、メーターを差し込みます。
- ② ウラ側で、取り付けたいネジヘコの字ステーをはめ込み、ばね座金とローレットナットで確実に締め込んで固定します。



B フレキシブルスタンドを使用しての取り付け

- ある程度の強度のある場所へ両面テープを使用して固定する場合(コラムカバー上、ダッシュ上等)



1 フレキシブルスタンドの取り付け

- ① スタンドのホルダーバンド部へメーターを差し込みます。
- ② 差し込めない場合は、六角穴付ネジを多少ゆるめてバンドを広げて下さい。
- ③ ホルダーバンド部
- ④ 六角穴付ネジ

2 クルマへの取り付け

- ① メーターの取付場所を決めます。
- ② 決めた場所にピッタリ付くようにスタンドを曲げます。
- ③ 決めた場所の油分や汚れ等を確実にキレイにします。
- ④ 両面テープにて貼り付けます。

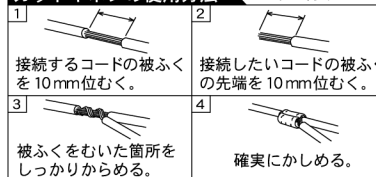
注意 両面テープは貼り直ししないよう、場所や状態をよく確認の上、貼り付けて下さい。

- ⑤ メーターの首振り角度を決め、六角穴付ネジを両側とも確実に締め込んで固定します。

(参考)
取付後、5Pカブラーコード等のコード類が見えて、見えが悪い場合
↓
スタンドのメーターの影になる所へタイラップ等で固定して下さい。

カットギボシの使用法

※半田付けができる場合は行って下さい。



※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオペンチ等で折りたたむようにしっかりとかしめて下さい。(下図)
※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かしめた状態を今一度お確かめの上、**確実にビニールテープ等で絶縁して下さい。**

故障と思われる前に ※修理依頼なさる前に、次の項目をご確認下さい。

症状	原因	対策
キースイッチONでオープニングデモ動作しない。	●赤コードの接続又は接触不良。 ●黒コードの接続又は接触不良。	各コードの接続状態を確認する。
表示が変化しない。	圧力が取れていない。 ホース各部の接続不良。 4Pカブラーの接続不良。	圧力を取った場所を確認する。 各箇所接続状態を確認する。 接続状態を確認する。
スモールONにしてもメーターの照明が点灯しない。	オレンジコードの接続又は接触不良。 照明調節が最も暗くなっている。	オレンジコードの接続状態を確認する。 照明明るさ調節を行う。
照明の色が他のメーターと多少異なる。	照明用LED自体のパラツキのため、故障ではありません。また、完全な同色にはできませんのでご了承下さい。	
キーOFF時の位置で針が止まる。	ステッピングモーターの特性上で故障ではありません。キースイッチON(エンジン停止)でオープニングデモ後に0を表示すれば正常です。	

PIVOT CORPORATION

株式会社ピボット 〒390-0313 長野県松本市岡田下岡田87-3 TEL0263-46-5901(代)